

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 26 年 8 月 7 日 (2014.8.7)

【公開番号】特開 2012-87448 (P2012-87448A)
 【公開日】平成 24 年 5 月 10 日 (2012.5.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-018
 【出願番号】特願 2011-199508 (P2011-199508)
 【国際特許分類】

D 0 1 G 27/00 (2006.01)

B 6 5 H 67/04 (2006.01)

D 0 1 H 9/18 (2006.01)

【F I】

D 0 1 G 27/00 D

B 6 5 H 67/04 B

D 0 1 H 9/18 B

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 19 日 (2014.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コーミング機の前のスライバ巻取機において、繊維材料の巻取済ロールを製造するために巻取ローラにリールを供給する装置であって、空リールが予備的に貯蔵部内に保持されており、そして巻取られたロールが交換された後、巻取ロールの包絡面によって形成された間隙状空間内にリールが導入され、装置が該貯蔵部から該リールを導入するために設けられている形式の装置において、

前記貯蔵部 (5) が、巻取ローラ (1, 2) の側方に配置されており、リール (4; 4a から 4n) は前記間隙状空間 (6) のレベルで側方から前記間隙状空間 (6) 内に導入されるようにその都度配置されていることを特徴とする、装置。

【請求項 2】

前記貯蔵部は、前記巻取ローラの端面に隣接する位置に配置されていることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記貯蔵部は、前記巻取ローラの外側において側方に配置されていることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記貯蔵部は、前記巻取ローラに隣接して配置されていることを特徴とする、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記貯蔵部が定置であることを特徴とする、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 6】

前記貯蔵部が傾斜路の形態を成していることを特徴とする、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 7】

前記傾斜路の低い方の端部領域が、前記間隙状空間と連携することを特徴とする、請求項 6に記載の装置。

【請求項 8】

前記貯蔵部から到来したリールが、重力により挿入位置に到達することを特徴とする、請求項 1 から 7 までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 9】

前記貯蔵部の長手方向軸線が、前記巻取ローラの端面に対して平行に延びていることを特徴とする、請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 10】

前記貯蔵部の長手方向軸線が、前記巻取ローラの軸線に対して直角を成して延びていることを特徴とする、請求項 1 から 8までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 11】

前記貯蔵部の長手方向軸線が、前記リールの軸線に対して直角を成して延びていることを特徴とする、請求項 1 から 8までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 12】

前記リールを前記巻取位置に供給するために、線形運動メカニズムが設けられていることを特徴とする、請求項 1 から 11 までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 13】

前記リールを供給するための前記線形運動メカニズムが、圧力シリンダを含んでいることを特徴とする、請求項 12に記載の装置。

【請求項 14】

前記間隙状空間が、前記巻取ローラのローラ・ニップの上方の領域内に設けられていることを特徴とする、請求項 1 から 13 までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 15】

前記間隙状空間が漏斗形状を有していることを特徴とする、請求項 1 から 14 までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 16】

前記間隙状空間が、前記巻取ローラのローラ・ニップの前方に設けられていることを特徴とする、請求項 1 から 13までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 17】

前記リールが、前記間隙状空間内に直線的に導入されるように配置されていることを特徴とする、請求項 1 から 16 までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 18】

側板が、前記間隙状空間に対して局所的に変位可能であることを特徴とする、請求項 1 から 17 までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 19】

変位のためにガイド機器が設けられていることを特徴とする、請求項 1 から 18 までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 20】

前記ガイド機器は、並進運動させられるように配置された 2 つのガイド・キャリッジを含んでいることを特徴とする、請求項 19に記載の装置。

【請求項 21】

ガイド・キャリッジが、側方から空リールを供給するための開口を有しているか、又は空いたままであることを特徴とする、請求項 20 に記載の装置。

【請求項 22】

前記完全に巻取済のロールを前記間隙状空間から取出すことができ、次いで前記間隙状空間内に側方から空リールを導入することができることを特徴とする、請求項 1 から 21 までのいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 23】

前記側板が前記巻取ローラの長手方向軸線に対して横方向に位置する状態で、前記完全

に巻取済のロールを前記間隙状空間から取出すことができることを特徴とする、請求項 18に記載の装置。

【請求項 24】

前記側板が前記巻取ローラの長手方向軸線に対して軸線方向に平行な位置する状態で、前記完全に巻取済のロールを前記間隙状空間から取出すことができることを特徴とする、請求項 18に記載の装置。

【請求項 25】

流体圧シリンダが、並進運動のための各ガイド・キャリッジと連携することを特徴とする、請求項 20に記載の装置。

【請求項 26】

前記巻取ローラに対して軸線方向に平行な側板を変位させるための流体圧シリンダが、各ガイド・キャリッジと連携することを特徴とする、請求項 20に記載の装置。